

1290 | 生活環境デザイン論

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

田中克明教授、福田弘講師、萩野美有紀講師

授業の概要と目標

私達の生活環境を形成するさまざまな道具や機器のデザインは、便利さや快適さを追求するだけでなく、省資源、リサイクル、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点に立った発想が求められるようになった。この科目では、これらの要件に敏感な生活者の視点に立って、人間とモノ、そして使われる環境との関係を多角的に捉え、それらのよりよい関係の在り方を考察したい。

授業は、面接授業において、生活環境に関わるデザインの変遷を技術の進化と文化の変化から見た歴史的側面から、現在の状況をスライドによって俯瞰することから始める。また、生産の現場や、関係する施設や展示会などの見学等を折り込み、多角的にデザインを考察する。通信授業では、面接授業で触発されたテーマをもとに実製品のデザインを体験・考察し、その分析・評価をレポートする。

課題の概要

○面接授業

生活を取り巻くプロダクト製品のデザインのあり方について考える。

○通信授業

製品デザインの分析・評価

*課題については学習指導書『生活環境デザイン論 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

面接授業



通信授業

[面接授業]

授業の概要と目標で示した生活環境デザインの視点に立ち、下記の内容を講義、実習、見学などを織り交ぜて行うオムニバス形式の授業である。最終日はテーマを定めてのレポート制作となる。

1. プロダクトデザインを、映像をまじえた講義により歴史的側面から考察する。自身の生活環境の変化とプロダクトデザインとの関係を掘り起こす「生活温度表」の作成も行う。
2. 椅子のコレクションのデザイン分析
3. 製品デザインの分析と評価を、グループワークを通して体験し、パネルにまとめ発表する。
4. 施設や工場等の見学
5. バリアフリーの実体験
6. 最終日に、各実体験の内容のまとめと感想、これからのプロダクトデザインの在り方など、レポートを制作し発表を行い提出する。

[通信授業]

面接授業をふまえた取り組みが出題されるので、面接授業を先に受講すること。詳細は学習指導書による。面接授業最終日に説明がある。

成績評価の方法

面接授業と通信授業の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「プロダクトデザインⅠ・Ⅱ」の単位を修得していること（生活環境デザインコース3年次編入学生を除く）。

[備 考] 工芸工業デザイン学科生活環境デザインコース3年次必修科目。
スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：横溝健志、田中克明編『生活環境デザイン』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

田中克明監修『プロダクトデザインの発想』（武蔵野美術大学出版局 2006年）

学習指導書：『生活環境デザイン論 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）